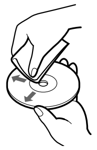
CDのお手入れのしかた



- 指紋やほこりによるCDの汚れは、音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でCDの中心から外の方向へ軽く拭きます。
- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた布で拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、CDを傷めることがありますので、使わないでください。

故障かな？と思ったら

サービス窓口にご相談になる前にもう一度チェックしてみてください。ご不明な点があるときは、右下に記載されているソニーの相談窓口にご相談ください。

電源が入らない。

- ACパワーアダプターをしっかり差し込む。
- 乾電池を正しく入れる。
- 乾電池が消耗していたら、すべて新しいものと交換する。

音が出ない。

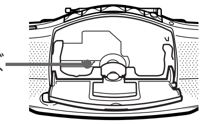
- ヘッドホンを∩(ヘッドホン)端子から抜く。

雑音が入る。

- 近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している。→携帯電話などを本機から離して使用する。

CDの演奏が始まらない。CDが入っているのに「– –」が表示される。

- CDが裏返し→文字のある面を手前にする。
- CDが正しい位置に入っていない→CDぶたを開けて入れ直す。
- CDの汚れがひどい→クリーニングする。
- レンズに露（水滴）がついている→CDを取り出してCDぶたを開けたまま1時間くらい置く。



- ファイナライズ処理（通常のCDプレーヤーで再生できるようにする処理）をされていないCD-R/CD-RWディスクは再生できません。
- CD-R/CD-RWでは、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合があります。

CDの音がとぶ。

- 音量を下げる。
- CDの汚れがひどい→クリーニングする。
- 振動のない場所に置く。
- CDに傷がある→CDを取り換える。
- CD-R/CD-RWでは、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって、再生された音がとんだり、雑音が入ることがあります。

FM受信時、ステレオにならない。

- ステレオ放送のみステレオで聞くことができます。

ラジオに雑音が入る。

- FMステレオ放送を受信しているときは、受信状態によっては雑音が多くなります。
- 乾電池が消耗していたら、すべて新しいものと交換する。
- テレビの近くでAM放送を受信すると、AM放送に雑音が入ることがあります。また室内アンテナを使用しているテレビの近くで、本機でFM放送を聞くと、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは、本機をテレビから離してください。
- このラジオ（チューナー）のテレビ音声回路はFM放送の受信回路と兼用になっています。このため一部の地域ではテレビ2または3チャンネルの音声を受信中、FM放送が混じって聞こえることがあります。その場合にはお近くのサービス窓口にご相談ください。

テレビ放送が聞こえない。

- 地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、本機ではテレビの音声を聞くことはできません。

主な仕様

CDプレーヤー部

型式	コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
チャンネル数	2チャンネル
ワウ・フラッター	測定限界以下（JEITA*）
周波数特性	20 － 20 000Hz +1/-2 dB（JEITA）

ラジオ部

受信周波数	TV: 4～12 CH FM/TV : 76～108 MHz (1～3CH) AM: 530～1 629 kHz
アンテナ	FM/TV: ロッドアンテナ AM: フェライトバーアンテナ内蔵

地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、本機ではテレビの音声を聞くことはできません。

共通部

スピーカー	フルレンジ：5.7 cm コーン型 2.7 Ω
出力端子	ヘッドホン（ステレオミニジャック）、負荷インピーダンス 8～32 Ω
実用最大出力	1 W+1 W (JEITA)
電池持続時間 (JEITA)	CD再生時**：ソニー ニュースーパーR6P：約2時間 ソニーアルカリLR6：約4時間
電源	外部電源端子 定格DC 6 V ACパワーアダプター（付属）を接続してAC100 V電源から使用可能 単3形乾電池4個使用（DC 6 V）
消費電力	DC 10 W
最大外形寸法	約315 x 131 x 70 mm（幅／高さ／奥行き）（最大突起部含む）(JEITA)
質量	本体 約840 g ご使用時 約940 g（乾電池、CD含む）
付属品	ACパワーアダプター（1）、取扱説明書・保証書（1）、ソニーご相談窓口のご案内（1）

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

* JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。

** 音量6分目程度

保証書とアフターサービス

保証書

●所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。●保証期間は、お買い上げ日より１年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は 保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は 修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではパーソナルオーディオシステムの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

よくあるお問い合わせ、解決方法などはホームページをご活用ください。 **http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口
フリーダイヤル‥‥‥‥‥‥‥‥0120-333-020
携帯電話·PHS·一部のIP電話‥0466-31-2511

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「304」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX（共通） 0120-333-389
受付時間 月～金:9:00～20:00 土・日・祝日:9:00～17:00

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1
http://www.sony.co.jp/

SONY

3-234-994-**07**(1)

パーソナルオーディオシステム

取扱説明書・保証書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

CFD-E10TV

品 名	パーソナルオーディオシステム
型 名	CFD-E10TV
保証書	T04-1001A-5

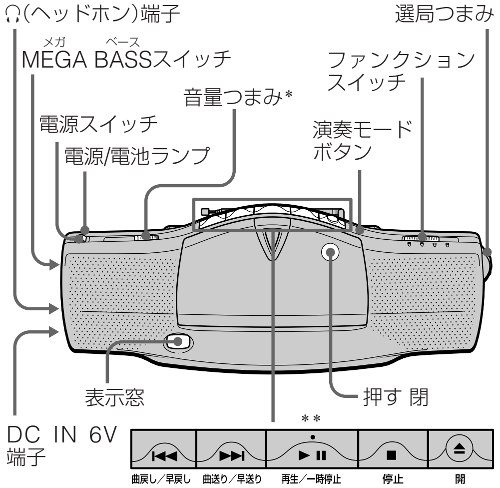
ここに保証書が入ります

Complete the film by inserting the warranty at this position.

在此處插入保證書完成菲林。

在此位置插入保证书以完成胶片。

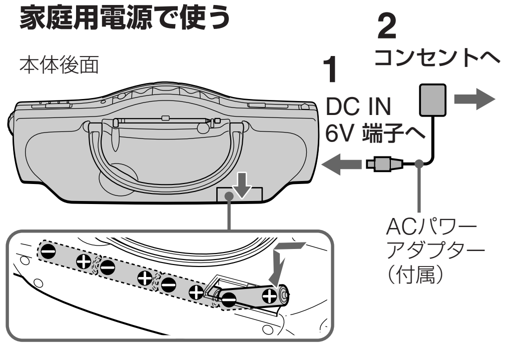
各部のなまえ



＊　音量「大」の側に凸点がついています。操作の目印としてお使いください。
＊＊凸点がついています。操作の目印としてお使いください。

電源を選ぶ

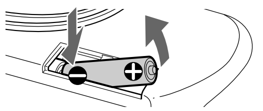
家庭用電源で使う



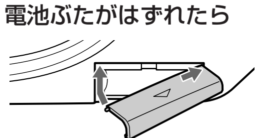
乾電池で使う

単3形乾電池4個(別売り)を入れます。

電池の取り出しかた



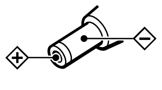
電池ぶたがはずれたら



まず右側を入れ、左側をみぞにそわせながら押し込みます。

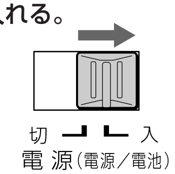
ご注意

- 乾電池で使うときは、ACパワーアダプターを本機から抜いてあることを確かめてください。ACパワーアダプターをつないでいると、乾電池では使えません。
- 乾電池が消耗してくると、電源／電池ランプが暗くなってきます。乾電池をすべて新しいものと交換してください。
- この製品には、付属のACパワーアダプター(極性統一形プラグ・JEITA規格)をご使用ください。それ以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。

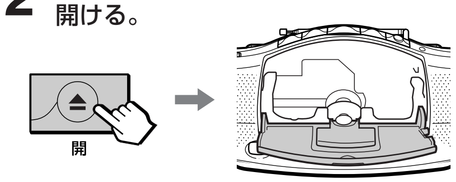


CDを聞く

1 電源を入れる。



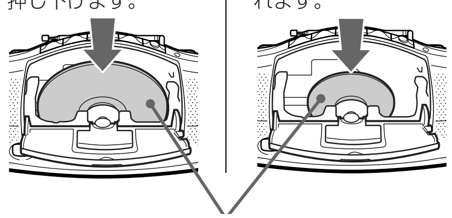
2 ▲ボタンを押してCDぶたを開ける。



3 CDを入れる。

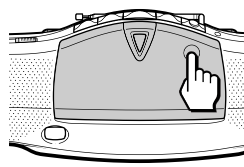
12cmCDの場合
カチッと音がするまで押し下げます。

8cmCDの場合
中央に合わせて入れます。

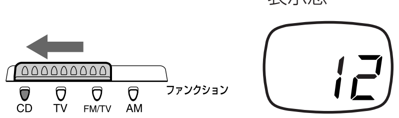


文字がある面を手前に

4 押す 閉を押してCDぶたを閉める。



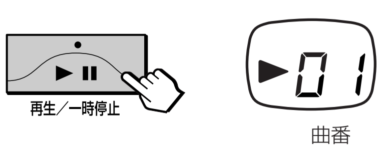
5 「CD」にする。



全曲数

6 ►IIボタンを押す。

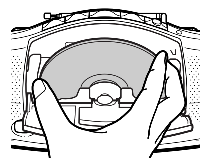
再生が始まります。



曲番

こんなときは	操作のしかた
音量を調節する	音量つまみをスライドさせる。
再生を止める	■ボタンを押す。
再生中に一時停止する	►IIボタンを押す。 もう一度押すと再生が始まる。
次の曲に進む	►►Iボタンを短くポンと押す。
曲の頭に戻る	I◄◄ボタンを短くポンと押す。
聞きながら曲を探す	演奏中に►►IまたはI◄◄ボタンを押したままにする。
CDを取り出す	■ボタンを押した後、▲ボタンを押す。
電源を切る	電源スイッチを「切」にする。

CDの取り出しかた



文字の書かれていない面(演奏面)に触れないように注意して取り出します。

演奏モードを選ぶ

1 ファンクションスイッチを「CD」にする。

2 演奏モードボタンを押して「REP 1」「REP」「SHUF」「SHUF REP」のどれかを選ぶ。

こんなときは	選んだ表示と操作のしかた
1曲だけ繰り返す	「REP1」：►►IまたはI◄◄ボタンで曲を選び、►IIボタンを押す。
全曲を繰り返す	「REP」：►IIボタンを押す。
順不同に演奏する	「SHUF」：►IIボタンを押す。
順不同に繰り返す	「SHUF REP」：►IIボタンを押す。

選んだ演奏モードをやめるには

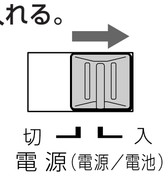
演奏モードボタンを押して、「REP1」、「REP」、「SHUF」または「SHUF REP」表示を消す。

ちょっと一言

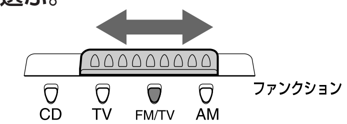
ヘッドホンで聞くには、ヘッドホンを(ヘッドホン)端子に差し込みます。

ラジオを聞く

1 電源を入れる。

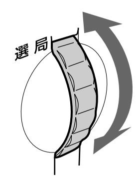


2 「TV」か「FM/TV」または「AM」を選ぶ。



3 聞きたい局に合わせる。

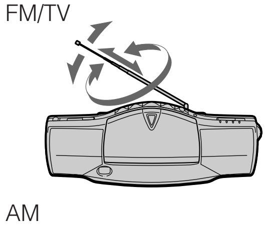
FMステレオ放送の雑音が多いときは自動的にモノラルになります。



こんなときは	操作のしかた
音量を調節する	音量つまみをスライドさせる。
電源を切る	電源スイッチを「切」にする。

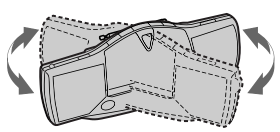
受信状態を良くするには

FM/TV



ロッドアンテナを伸ばし、向きを変える。

AM



本体を最も受信状態の良い方向へ向ける。

テレビ放送の受信についてのご注意

地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、本機ではテレビの音声を聞くことはできません。

好みの音質で聞く

重低音を楽しむには

MEGA BASSスイッチを「入」にする。

通常の音に戻すには、「切」にします。

使用上のご注意

置き場所について

本機やCD等を次のような場所には置かないでください。

- 磁石やスピーカーのすぐそばなど、磁気を帯びたところ
- テレビの近く

取り扱いについて

- CDぶたを開けたまま放置しないでください。内部にゴミやほこりが入り、故障の原因になることがあります。
- 本機のスピーカーには強力な磁石を使っていますので、次のようなものは本機のそばに置かないでください。
  – 時計
  – クレジットカードなどの磁気カード
  – カセットテープ、ビデオテープなどの磁気テープ

ACパワーアダプターについて

- コードを無理に曲げたり、上に重い物をのせたりしないでください。
- アダプターを抜くときは、コードを引っ張らずに、アダプター本体を持って抜いてください。
- 長い間使わないときは、アダプターをコンセントから抜いてください。
- アダプターは容易に手が届くコンセントに接続してください。万一異常が起きたときは、すぐにアダプターをコンセントから抜いてください。

CD-R/CD-RWについて

本機は、CD-DAフォーマット*で記録されたCD-R(レコーダブル)およびCD-RW(リライタブル)ディスクを再生することができます。ただし、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合があります。

＊CD-DAは、Compact Disc Digital Audioの略で、一般オーディオCDに使用されている、音楽収録用の規格です。

著作権保護技術付音楽ディスクについて

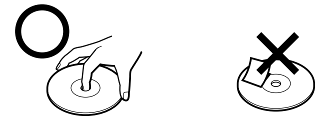
本機は、コンパクトディスク(CD)規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本機で再生できない場合があります。

DualDiscについて

DualDiscとはDVD規格に準拠した面と、音楽専用面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。尚、この音楽専用面はコンパクトディスク(CD)規格には準拠していないため、本製品での再生は保証致しません。

CDの取り扱いかた

- 文字の書かれていない面(演奏面)に触れないように持ちます。
- 紙やシールなどを張ったり、傷つけたりしないでください。



- 長時間演奏しないときは、ケースに入れて保存してください。ケースに入れずに重ねて置いたり、ななめに立てかけておくとそりの原因になります。
- 本機では円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状(星形、ハート型、カード型など)をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。